

第2回販促会議賞課題2

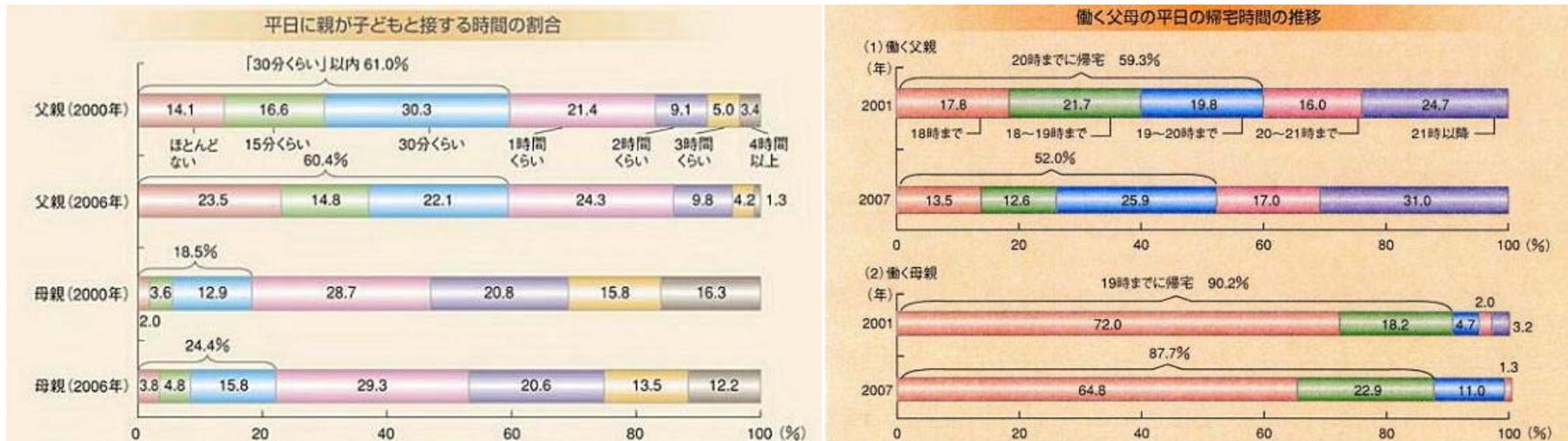


[応募者ID] 50295A397D



「親子で一緒に朝日新聞を読む」というシチュエーションを作り出すこと。

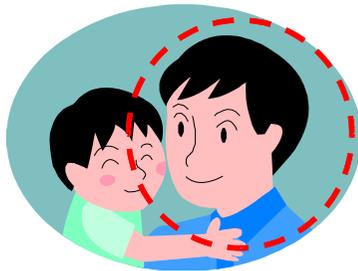
親子の関係が希薄化している？



平成19年度版「国民生活白書」より

共働きの家庭も多くなり、さらに父母の帰宅時間も遅くなり、父親の約4人の1人が平日にほとんど子どもと接しない、など親子のコミュニケーションが減少化の傾向に・・・

普通の家庭において新聞とは・・・「親子で読む」ものではない。



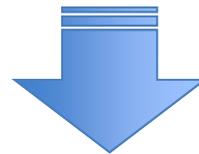
親にとっては・・・

新聞を読む目的は、世の中のニュースや出来事を知るため。
仕事をするうえでも、世の中の動向は知っておく必要がある。



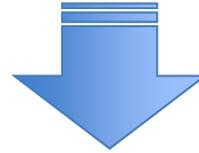
子どもにとっては・・・

新聞はそもそも読まない。
読むとしてもテレビ欄の番組表くらいのもの・・・。



「親子で一緒に読む」ことの動機・必然性がない

朝日新聞を、親子のコミュニケーションを紡ぐツールに。



「朝日親子新聞」

記者は、親と子ども。

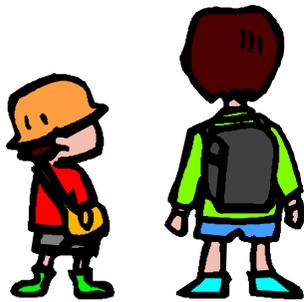
平日は親は仕事で帰宅時間も遅くなり、一緒に過ごす時間がなかなかとれず、お互いのことを話すことも少なくなっている現代の親子。

そんな親子が、学校での出来事や仕事のことをWEBから書き込むことで、その家庭だけの「親子新聞」が、毎週日曜日に朝日新聞と一緒に届きます。

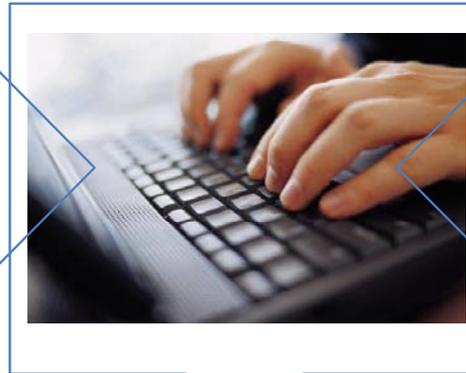
平日

子ども

親

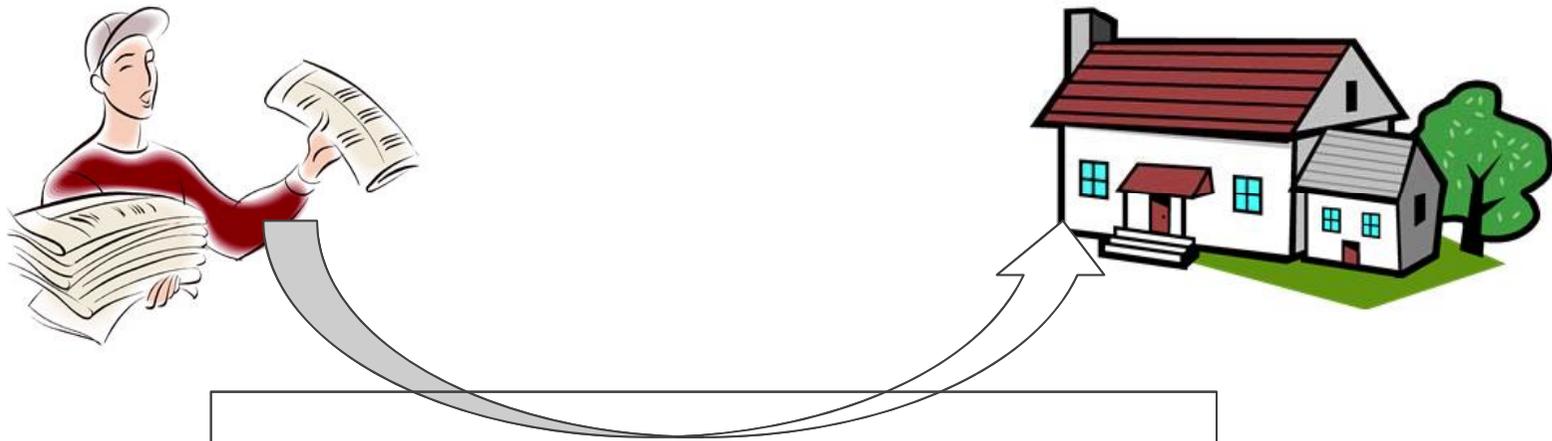


一緒に過ごす時間が取れない
平日には、それぞれが学校や
仕事であった出来事などを、
特設WEBサイトのフォームから
書き込み



すると...

日曜日



朝日新聞

朝日親子新聞

A collage of newspaper pages. On the left, there are pages from the main Asahi Shimbun, including a front page with the date '2月15日 火曜日' and a headline '民主化命運 握る軍'. On the right, there are pages from the 'Asahi Family News' supplement, featuring a green graphic design with a stylized face and a keyhole.

WEBサイトから入力した親子の一週間の出来事が、ジェネレーターで新聞テイストにレイアウトされ、その家庭オリジナルの「朝日親子新聞」として、日曜日に実際に朝日新聞と一緒に家庭に配達

日曜日に朝日新聞と一緒に届けられた朝日親子新聞を親子で一緒に読みながら、お互いの話をしよう。

へ～
このCMってお父さんの
会社が作ったんだ



そうか、音楽の授業が
きっかけでまゆみちゃん
と仲良しになったのか

- WEBサイトから自宅のプリンタでプリントアウトするような形ではなく、実際に新聞と一緒に家庭に配達されることで、より新聞に近いカタチで親子新聞が届く楽しさを演出します。
- 親子が各自で入力した内容とあわせて、朝日新聞の編集部が、その週の朝日新聞の記事から「親子で読んでほしい」と思う記事を選び、一緒に掲載します。
- そうして親子の出来事と世の中の出来事が一緒になって出来上がったものが朝日親子新聞になります。
- 新聞は、学校の授業だけでは学べない「世の中の教科書」。朝日親子新聞をきっかけに、子どもが親と一緒に新聞を読み始める機会を創出することで、朝日新聞が世の中に新聞社としての社会的意義を果たすことにつなげます。